

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 4 月 6 日(2023.4.6)

【公開番号】特開 2021-108738(P2021-108738A)
【公開日】令和 3 年 8 月 2 日(2021.8.2)
【年通号数】公開・登録公報 2021-034
【出願番号】特願 2020-200(P2020-200)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 29 日(2023.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機において、

ユーザープログラムを実行可能なマイクロコンピュータを備え、

前記マイクロコンピュータは、データを出力可能な出力ポートを複数含み、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、特定レジスタに格納されているデータを前記出力ポートから出力させる特定出力命令を含み、

前記特定レジスタには、前記マイクロコンピュータが起動して前記ユーザープログラムが開始される前に 0 が格納され、

30

前記ユーザープログラムを開始した後、遊技の制御が開始した後の所定契機で前記出力ポートを初期化する場合に、前記特定レジスタに格納されているデータを 0 とする命令を実行した後、前記特定出力命令を実行することで前記出力ポートから出力されるデータを 0 とし、

前記ユーザープログラムの開始に伴う特定契機で前記出力ポートを初期化する場合に、前記ユーザープログラムの開始後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更する命令を実行する前に、前記特定レジスタに格納されているデータを 0 とする命令を実行することなく前記特定出力命令を実行することで前記出力ポートから出力されるデータを 0 とし、

複数の前記出力ポートを初期化する場合に、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうちの前記出力ポートから出力されるデータを 0 とした後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更することなく、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうち他の前記出力ポートから出力されるデータを 0 とする、遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

50

請求項 1 の遊技機は、
遊技を行う遊技機において、
ユーザープログラムを実行可能なマイクロコンピュータを備え、
前記マイクロコンピュータは、データを出力可能な出力ポートを複数含み、
前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、特定レジスタに格納されているデータを
前記出力ポートから出力させる特定出力命令を含み、
前記特定レジスタには、前記マイクロコンピュータが起動して前記ユーザープログラム
が開始される前に 0 が格納され、
前記ユーザープログラムを開始した後、遊技の制御が開始した後の所定契機で前記出力
ポートを初期化する場合に、前記特定レジスタに格納されているデータを 0 とする命令を
実行した後、前記特定出力命令を実行することで前記出力ポートから出力されるデータを
0 とし、

10

前記ユーザープログラムの開始に伴う特定契機で前記出力ポートを初期化する場合に、
前記ユーザープログラムの開始後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更する
命令を実行する前に、前記特定レジスタに格納されているデータを 0 とする命令を実行す
ることなく前記特定出力命令を実行することで前記出力ポートから出力されるデータを 0
とし、

複数の前記出力ポートを初期化する場合に、前記特定出力命令を実行することで複数の
前記出力ポートのうちの前記出力ポートから出力されるデータを 0 とした後、前記特定
レジスタに格納されているデータを変更することなく、前記特定出力命令を実行すること
で複数の前記出力ポートのうち他の前記出力ポートから出力されるデータを 0 とする、
ことを特徴としている。

20

この特徴によれば、ユーザープログラムを開始した後、遊技の制御が開始した後の所定
契機で出力ポートを初期化する場合には、特定レジスタに格納されているデータを 0 とす
る命令の後、特定出力命令を実行する必要があるが、ユーザープログラムの開始に伴う特
定契機で出力ポートを初期化する場合には、マイクロコンピュータが起動してユーザープ
ログラムが開始される前に、特定レジスタに 0 が格納されることから、ユーザープログラ
ムの開始後、特定レジスタに格納されているデータを変更する命令を実行する前に、特定
レジスタに格納されているデータを 0 とする命令を実行することなく特定出力命令を実行
することで、ユーザープログラムの開始に伴い出力ポートを初期化する際の命令数を減ら
すことができる。

30

40

50